



# なま



広報

市民の友

第652号 毎月1回発行  
2005年(平成17年)

5月

発行●那覇市 編集●秘書広報課  
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号  
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷㈱

市の人口と世帯	
※( )内は5年前外国人 2005(平成17)年3月末現在	
総人口	312,621 (1,833)
男	151,133 ( 944)
女	161,388 ( 889)
世帯数	125,537 (1,042)
住民基本台帳人口の別(内国人数を除く)	
本 庁	90,973
真和志	105,288
首 里	58,605
小 禄	55,822



銘苅小学校・幼稚園が開校



## 羽衣伝承の地から 羽ばたけ銘苅っ子

市内36番目の小学校として、発展めざましい新都心に建設が進められていた銘苅小学校・幼稚園がこのほど完成。4月4日に、児童や保護者、関係者が集まって、新しい学校の誕生を祝いました。

同日午前に行われた開校式で、児童を代表し、6年生の古堅育男君が「待ちに待った開校です。新しい友だちと一緒に、新しい歴史を刻むため、自ら考え実践して、新しい立派な校舎に負けなように、がんばります」と力いっぱい挨拶しました。

銘苅小学校は、安謝、松島、真嘉比、泊の4校から転校してきた2年生から6年生と、入学してくる新1年生の合わせて513人でスタートします。

開校式の後、校舎の中や自分たちの教室を見て回った子どもたちは、口々に「天井が高〜い」、「新築のいいにおいがする」、「教室が明るい、早くここで勉強したいね」と感想を話し、新しい学校で迎える新学期を心待ちにしているようでした。

また、午後には開校を記念して、銘苅に残る羽衣伝説を基にした組踊「銘苅子(メカルシー)」を子どもたちが上演、素晴らしい熱演に、会場を訪れた地域の人々や関係者から、盛んな拍手が送られました。

主な紙面	
市民・事業所の皆様と協働で	2
さらなる「ごみ減量」を	3
哀悼親泊前市長ご逝去	4
育もう！みんなのたからもの	5
情報PACK	6
	7

## 協働のまちづくり で 那覇を紡ぐ

市では、市民のみなさまとの協働によるまちづくりを進めています。

協働とは、市民、市民団体、事業者のみなさんと、市が役割の違いや相互の特性を理解し互いに補完し合う、よきパートナーとして、協力し合う活動体系をいいます。

第一回目の「那覇を紡ぐ」は、整備の計画段階から、地域のみなさんが積極的に参加し、ワークショップを開き、地域住民の意見を反映させて先ごろ完成した、「くんだなかみち」を紹介いたします。

「くんだなかみち」は、那覇商業高校から上山中学校に通じる約3百メートルの市道で、これまでは歩道がなく、事故も多発していました。そこで、歩道を整備するにあたり、地域のみなさんにも参加していただき、意見交換等を行いました。

平成13年度から始まり、延べ10回を数えたワークショップには、地域のみなさんと業者、市職員が参加、課題の整理や整備方針、まちづくりの方向性など、毎回、活発な意見交換や提案がなされました。

久米自治会の山川新幸会長は「ワークショップには、地域の子どもたちにも参加してもらい、意



地域のみなさんと設計業者、市職員が参加したワークショップ(先生や講師から一方的に話を聞いたりテキストや教材を読んだりするだけでなく、参加や体験など共同で何かを作る場所のこと)の様子。

## 地域の知恵を反映

見や提案を出してもらいました。道を作ることは百年の大計です。地域の道づくりに参加したことは、子どもたちにとっても、数年後、数十年後にすくく自信になると思います。「まちづくり」は、「人づくり」にも通じると考えます。今回、行政との協力で、「くんだなかみち」を完成させることが出来たのは、地域だけでなく子どもたちにとっても大変意義深いものがあつたと思います。このような機会を増やし、今後の那覇市のまちづくりに活かしていただきたいです。すね」と話しました。

「くんだなかみち」は十字路に、ドライバーへの注意を促すために、久米の旗頭のデザインになっている。「水仙」や「なでしこ」が大きく描かれています。また、竜頭の彫刻の車止や、琉球王朝時代の久米や那覇の地図などの石版が埋め込まれるなど、安全に歴史を学べる「教育歩道」としても期待されています。

